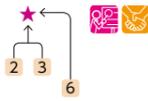


戦略

1

社会人としての基礎力、課題解決力を有した地域リーダーとなれる人材を輩出し、社会に貢献している。



行動計画のストーリー

進路支援が充実し、個々の進路目標が達成され、学生・保護者は高い満足度を持って卒業し、各々の出身地で地方創生の核として活躍する人材となっている。短期大学の教育・学生指導が評価され、学生募集に反映されている。

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
編入希望者の基礎学力向上カリキュラムの検討	カリキュラムの実施			新たな課題解決策の実施
国学院大学以外の編入学受け入れ先の開拓と確保				
	専門スキル向上に向けた地域との連携推進			
専門職となるための基礎的スキルの修得支援	OB、OGガイダンスの併用			
	外部講師の導入による学力向上プログラム実施			新たな課題解決策の実施
明確な職業意識とライフプラン形成支援	ライフプラン形成のための学習プログラム実施			
	地域の人材の活用による指導併用			
			取り組み全体の効果測定と課題検討	
評価指標 ●編入指定校 9校 【 北海道内3校⇒5校 】 【 首都圏6校⇒10校へ 】 15校				

●専門職(保育士、幼稚園教諭、介護福祉士)への就職率(過去3ヵ年平均)	93.8%				
	95%	96%	97%	98%	100%

達成後の姿

- ・基礎学力と幅広い知識を有する人材育成によって、国学院大学等への3年次編入学生の学力が向上している。
- ・編入受け入れ先が計画前より増加し、他大学への編入学が拡大している。
- ・基礎的スキルの構築等により、専門職への就職率が向上するとともに、就職試験対応力が向上している。
- ・地域人材の活用によって、学生がそれぞれの出身地の地方創生に貢献している。

戦略

2

教育課程の見直しが進み、カリキュラム・ポリシーに基づく理念と教育の仕組みが確立している。



行動計画のストーリー

学生の学習成果を獲得させるため、専門教育課程のカリキュラムを検証し、教育課程全体の改善・再構築するとともに、資格取得や英語力の強化を進め、必要に応じて学科名称の変更・改組転換等の対策を講じ教育目標の達成を実現する。

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
		専門教育課程のカリキュラムの導入	新専門教育カリキュラムの推進の見直し	
専門教育課程のカリキュラムの検討	専門教育課程検討結果に基づき学科課程のカリキュラムの構築		平成33年度実施の認証評価(第三者評価)に向けて自己点検評価報告書で公表	
		改組転換等の必要性の判断	改組転換の準備推進	改組転換申請
英語力の強化のための方策の立案と実施	英語力強化策の実施	英語力強化策の段階整備完了	英語力強化策の見直し	
評価指標 ●専門教育課程の改善・再構築 新規 カリキュラム・ポリシーの検証と見直し 100% 新規カリキュラム編成 100% 新カリキュラムスタート 100% カリキュラムの展開と結果の検証 100% カリキュラム再編成完了				
●専門教育課程の改革 新規 目的別学習成果獲得への教育課程見直し 100% 教育課程再構築、改組転換等の必要性検討 100% 左記と連動したカリキュラム再構築、改組転換等の必要性の判断100% 改組転換等の準備 100% 改組転換等の申請完了				
●英語力強化への改革 新規 英語理解力の強化 100% 英語表現力の強化 100% 英語運用力の強化 100% 英語力強化策の結果検証 100% 英語力強化策実施完了				

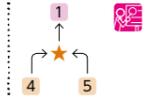
達成後の姿

- ・カリキュラム・ポリシーに基づく教養教育・専門教育課程の構築が完了している。
- ・国際化を見据えた英語力の強化が完了し、学生は付加価値をもった学習成果を獲得している。

戦略

3

教育・保育指導者や、資格を活かせる専門知識と実践力を養成するプログラムが確立している。



行動計画のストーリー

・地域、近隣の小学校・幼稚園・保育所との連携、体験活動、アクティブ・ラーニングを授業に取り入れ、学習の質を高めて即戦力養成の場を整え、検証・改善・面談により学生のモチベーションを高める。
 ・ありす座の活動拡充、地域人材の授業参画により、地域に貢献することの意味を体験から深く理解し自覚した人材を育てる。
 ・道内で活躍する教員・院友教員の情報把握と参画、教育プログラムの再検討を行い、計画的に実行することにより教職を目指す学生の質を高める。
 ・模範力(人権力、協働力、敬語・マナー等)を涵養する新規科目を開設し、少人数教育により模範力を有する学生を育成する。
 以上の取り組みにより、専門知識と実践力を有する高度専門職業人として地域人材の育成が進む。

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
少人数指導による質の向上	アクティブ・ラーニングの実践・拡充		地域の教育・保育関係者への発表	
地域連携型授業の展開	地域連携型自然体験・環境教育実践		全ゼミ交流の場の設定	
地域で活躍する人材の活用	地域ゲスト講師、OB・OG講演			
地域貢献の意義・理解の深化	ありす座公演の拡充			
国語科教育の基本方針検討・決定・制度設計	プログラムの検討	プログラムの実施		
模範力の検討・模範力養成(茶道・華道・挨拶・敬語指導の実施)	授業内容の検討	ゲスト講師招聘	新規科目検討、授業科目担当講師選任	模範力養成の新規科目設定
	茶道・華道の授業実施・拡充、挨拶・敬語指導実施			

評価指標	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
● アクティブ・ラーニング、地域連携型授業比率 新規	60%	70%	75%	80%	90%
● 地域活動達成率 新規	60%	70%	75%	80%	90%
● 国語科教育強化指標 新規	60%	70%	75%	80%	90%
● 模範力評価指標 新規	60%	70%	75%	80%	90%

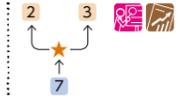
達成後の姿

・積極的に授業参加し、課題解決の姿勢が身につけているとともに、教員採用、公務員試験対策に積極的に取り組んでいる。
 ・地域と連携した活動により、地域に貢献する意義を理解し、地域への就職志向が高まっている。
 ・国文学科卒業教員や院友教員とのネットワーク構築が教員養成教育に活用され、「教職の國學院」の一翼を担う国語科教育が強化され、教職志望学生の質的向上が図られている。
 ・教師・保育士として、子どもたちの模範となる基礎的素養や豊かな人間性が涵養され、少人数教育の成果があがっている。

戦略

4

学生情報の一元化システムが構築され、学生の学修・生活指導が充実している。



行動計画のストーリー

入学前からの学生情報が集積され、入学後の学生情報は一元化により集中管理されている。この情報により一体感のある学生対応を行ない、学生の成長が促され退学者は減少し、目指す進路決定につながり、学生・保護者の満足度が高まり、ひいては入学者の増加につながっている。

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
学生情報の集中管理システム化に向けた学内組織の設立	学生情報集中管理システム構築	学生情報集中管理システムの運用とこれに基づく学生指導の実施	学生情報集中管理システムと学生指導の運用上の課題の検証、課題解決に向けた学内組織における対策の立案	
	学生情報集中管理システム運用に向けた教職員の研修実施		PDCAサイクルによるシステムおよび学生指導の効果を検証し、学生の成果を可視化した評価を平成33年度実施の認証評価(第三者評価)に向けて自己点検評価報告書で公表	
学生の成長記録の累加と可視化の実施				
		「学生基礎力レポート」による学生の成長検証		
「学生基礎力レポート」の実施				

評価指標	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
● 退学者数 平成26・27・28年度の平均値:15人	△20%	△30%	△40%	△50%	△50%
● 進路達成率(各年度卒業生比) 新規	90%	93%	95%	95%	98%
● 学生保護者満足度(各年度卒業生比) 新規	—	—	75%	80%	85%

達成後の姿

・学生情報の一元化が指導の強化につながり、学生の成長を促している。
 ・学生および保護者の満足度が高まるとともに、少人数の地方高等教育機関としての特色を可視化できており、入学者増につながっている。

國學院大學

北海道短期大学部

國學院高等学校

國學院大學久我山
中学・高等学校

國學院大學附属
幼稚園

國學院幼稚園

戦略

5

地域の自治体や経済界との連携が強化され、
本学の知的財産の活用が進んでいる。

3

↑
★
↑
7



行動計画の
ストーリー

短期大学部の人材、所蔵資料などの知的財産の活用プログラムが実施され、地域連携ネットワークも一層充実することによって、生涯学習拠点(コミュニティカレッジ)としての役割が高まり、地方創生を担う高等教育機関として地域の拠点となっている。

平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度
自主講座の活性化と地域連携充実社会貢献プログラムの再検討(地域貢献・産学官連携・国際交流等)	社会貢献プログラムの実施;点検			
教育機関等連携会議の組織	教育研究機関連携会議の運営、検討課題の実施			
連携協議会の再活性化プログラム作成	再活性化プログラムの実施			
評価指標 ●知的財産プログラム計画事業達成度 新規 プログラム・評価指標(含む客観評価指標)の作成 100%	評価指標による評価 80%	評価指標による評価 100%	評価指標による評価 100%	客観評価指標を含む生涯学習拠点としての高評価が達成される
●連携ネットワーク形成比率 新規 プログラム・評価指標(含む客観評価指標)の作成 100%	評価指標による評価 80%	評価指標による評価 100%	評価指標による評価 100%	学校教育・社会教育機関との連携、経済界との連携が密接になっている

達成後の姿

・短期大学部および國學院大学の知的財産が活用され、生涯学習拠点(コミュニティカレッジ)となっている。
・連携協議会の活性化、教育機関等連携会議の成果によって地域との連携ネットワークが充実し、短期大学部の入口・教育・出口対策に貢献している。

戦略

6

学生募集基盤、長期的な財政基盤が確立している。

1

↑
★
↑
7



行動計画の
ストーリー

滝川市内・道内・道外別に戦略を組み立て、安定的な学生確保を図る。地域との連携強化、地元・道内からの入学者の増加、併願入試説明会の効果的開催による道内・道外の編入学希望者の確保、東北地区の募集基盤の整備、募集体制の強化を通じて、入学定員の安定的な学生確保を図る。

平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度
募集体制の強化と活性化	空知管内院友会の設立		高大連携高等学校の拡大	北海道内基盤の総点検、未達成事項の実施
札幌地区広報の充実	高校訪問地区担当制	奨学金制度の充実・見直し	新奨学金制度の運用	
併願入試連携強化				北海道外基盤の総点検、未達成事項の実施
北東北地区の基盤強化	南東北地区の基盤強化			
施設整備計画の策定と財源の確保				
評価指標 ●入学者数 205人(道内77人)	道内80人	道内90人	道内100人	道内100人、道外125人の安定的な確保を目指す

達成後の姿

・奨学金制度の充実や併願入試連携強化等により効率的な学生募集体制が整い、より効果的な学生募集が進んでいる。
・地域連携により、地域からの入学者も一定数が確保され、学生募集にも資している。
・入学定員が安定的に確保され、施設整備計画に基づく財源確保が行われている。

國學院大學

北海道短期大学部

國學院高等学校

國學院大學久我山
中学・高等学校

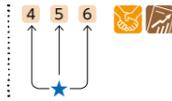
國學院大學附属
幼稚園

國學院幼稚園

戦略

7

教育の質を保証するための
教職員の総合力が向上している。



行動計画の
ストーリー

学生の学修成果の獲得を支援する教育体制を確立し、これを運用支援する教職員の能力の向上に向けた教職員研修(SD・FD)活動を充実させ、教育の質を保証する。また、地域連携により、地域からの入学者も一定数が確保され、学生募集にも資している。

	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度
教職員の能力向上		教職員のSD・FD研修への参加拡大		授業改善の継続と新しい教育体制を構築に向けて検証を推進	
		授業改善の取り組み		平成33年度の認証評価(第三者評価)に対する準備を進め、自己点検評価報告書のなかで検証結果を公表	
地域人材の有効活用		地域との連携をPR		地域人材の活用拡大	
評価指標					
● FD研修の充実、定期的研修開催、國學院大學研修参加	60%	60%	60%	60%	60%
	70%	75%	80%	85%	90%
● 学生の授業評価の活用、評価の分析、指摘、改善点の公表	60%	60%	60%	60%	60%
	70%	75%	80%	85%	90%
● SD研修の強化、定期的研修開催、國學院大學研修参加	60%	60%	60%	60%	60%
	70%	75%	80%	85%	90%
● 地域人材の活用、正規授業への活用、講師招聘	70%	70%	70%	70%	70%
	70%	75%	80%	85%	90%
達成後の姿	・社会の要請に応える人材になるための学習成果の獲得ができる学生を育成する教育体制が確立されており、教育の質を保証する教職員の能力向上が確認されている。 ・地域と一体となって、学生募集に結果を残している。				

國學院大學
北海道短期大学部
國學院高等学校
國學院大學久我山
國學院大學附属
幼稚園